

平成30年9月21日

保護者の皆様

新宿区立津久戸小学校長 牧田 健一

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

30年7月5日(木)に、5年生が参加した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について、明らかになりましたので、お知らせします。 (参加人数44名)

記

1、本校の結果（本校の具体的な数値の公表は差し控えます）

<平均値が東京都より上回っています>

- すべての教科において、A、Bのいずれにおいても、東京都の平均より2ポイントから12ポイント程度上回っています。

<特に、Bの「読み取る力」が定着しています。>

- 項目によっては、特に国語や算数のB（読み解く力）については、9.5～13.5ポイント近く上回っています。

A・Bとは、

Aは、関心・意欲や思考・判断・表現や知識・理解などの教科の内容

Bは、読み解く力で取り出す力、読み取る力、解決する力などです。

2、分析と今後の方針

- 学校や家庭での学習への取り組みの効果がでています。
- 特定の子ができるのでなく、ほとんどの児童がよくできています。
- 特にB問題がよくできているのは、日常の学習において、知識・理解にとどまらず、応用・活用する力を育てているからです。
- 正答数の少ない児童や、平均に届かない児童に対しては、少人数での指導や宿題の出し方などを検討していきます。習熟度指導や個別指導をさらに充実させる必要があります。
- 今後も、授業の改善に努め、学校と家庭の連携をさらに強くしていきます。